初春文楽公演

令和9年 1月3日(日)―24日(日)

※14日(木)は休演

字幕表示がございます

予約開始

12月8日(火) 午前10時～

※窓口での販売は翌日からとなります。

【電話】国立劇場チケットセンター〔午前10時～午後6時〕
0570(07)9900
03(3230)3000(一部IP電話等)

【インターネット】国立劇場チケットセンター 検索

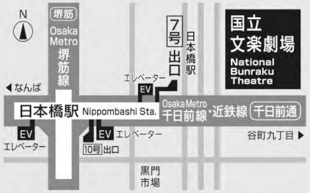
ご観劇料〔税込・全席均一〕

【第1部】【第2部】各6,700円(学生4,700円)
【第3部】5,500円(学生3,900円)

※障害者の方と介護者1名は2割引です(他の割引との併用不可)。
また車椅子用スペースがございます。
詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。
※インターネットでも学生料金・障害者割引による申し込みが可能です。

プレイガイド 12月8日(火) 午前10時より	
●チケットぴあ	https://t.pia.jp/
●ローソンチケット	https://l-tike.com/
●e+(イープラス)	https://eplus.jp/

年末年始の休業のご案内
国立劇場チケットセンターは12月29日(火)から1月1日(金・祝)まで、
国立文楽劇場チケット売場は12月29日(火)から1月2日(土)まで、休業いたします。



国立文楽劇場（大阪）
National Bunraku Theatre, Osaka
〒542-0073 大阪市中央区日本橋1丁目12番10号
06(6212)2531(代) https://www.ntj.jac.go.jp/

Osaka Metro・近鉄〈日本橋〉駅下車7号出口より東へ徒歩約1分

※駐車場がございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください。

くろごちゃんファンド ご寄附のご案内▶

JAPAN CULTURAL EXPO

国立文楽劇場友の会
チケット先行申込み、会員割引、
会員限定イベントなどの特典あり！
Webからいつでも入会可能

関西から 文化力 POWER OF CULTURE

第1部 午前11時開演（午後1時45分終演予定）

万才・鷺娘

四季の情景を綴った『花競四季寿』より、太夫と才蔵が家々を廻り新春の祝詞を述べる「万才」と、娘姿の鷺の精が雪原を背景に、春の芽生えを祝って舞う「鷺娘」をご覧いただきます。

豊竹睦太夫
豊竹希太夫
竹本咲寿太夫
豊竹薫太夫
竹本文字栄太夫
鶴澤清友
鶴澤清馗
鶴澤清丈
鶴澤友之助
鶴澤清方
鶴澤藤之亮

楳茂都陸平＝振付（万才）
藤間紋寿郎＝振付（鷺娘）

太夫	桐竹紋吉
才蔵	吉田玉翔
鷺娘	豊松清十郎

芦屋道満大内鑑

十世紀末の陰陽博士・安倍晴明は天文、占いに秀で、朝廷を中心に広く活躍しました。晴明には、その父・安倍保名と白狐との間に生まれたといわれる伝説があり、それを下敷きにした物語です。

朱雀帝の世、宮中の騒動の末、恋人が非業の最期を遂げ正気を失った安倍保名は、恋人と瓜二つの女性・葛の葉姫と出会い、夫婦になります。しかし、その女性には秘められた素性があり、逃れられない悲しい運命を背負っていたのでした――。

色彩豊かな花が咲き誇る中、亡き恋人の形見である小袖を媒介に保名と葛の葉とが巡り逢う幻想的な「保名物狂」に続き、狐の化身である葛の葉が、愛する夫と息子に別れるという哀切を極めた名場面「葛の葉子別れ」を上演します。

保名物狂の段

山村若栄＝振付

口 竹本碩太夫
　 鶴澤燕二郎
奥 竹本織太夫
ツレ 竹本織栄太夫
　 鶴澤藤蔵
ツレ 鶴澤清允

葛の葉子別れの段

中 竹本三輪太夫
　 竹澤團七
切 竹本千歳太夫
　 豊澤富助

葛の葉姫	桐竹紋秀
安倍保名	吉田玉助
奴与勘平	吉田勘市
石川悪右衛門	桐竹勘介
女房葛の葉	吉田簑二郎
安倍童子	吉田簑悠
木綿買実は荏柄段八	桐竹亀次
信田庄司	吉田簑紫郎（1月3日～13日） 吉田玉勢（1月15日～24日）
庄司の妻	吉田玉誉
信楽雲蔵	桐竹勘昇
落合藤治	豊松清之助
腰元・家来	大ぜい

第2部 午後2時30分開演（午後6時終演予定）

伊賀越道中双六

日本三大敵討ちの一つとされる「鍵屋の辻の決闘」を近松半二が劇化し、彼の絶筆となった大作です。今回は、町人ながら筋道を重んじる呉服屋十兵衛の生きざまとその死に焦点を当てた場面構成で上演します。

沢井股五郎は上杉家の家臣・和田行家を殺害し、一族の沢井城五郎に匿われます。城五郎は出入りの呉服屋十兵衛に秘伝の妙薬を入れた印籠を託し、股五郎の脱出を手引きするよう命じます。上杉家の股五郎捕縛の計画も虚しく、股五郎は遁走、父・行家の敵討ちを狙う和田志津馬は重傷を負います。

十兵衛は沼津の里で荷持人足の平作に出会いますが、平作こそ幼い時別れた実父だったことが分かります。さらに妹に当たるお米が志津馬の恋人・瀬川であることを知った十兵衛は、負傷した志津馬のために密かに印籠を残して去ります。再会した父と息子が敵味方の立場に分かれていることを知る皮肉。この親子の対面はさらに過酷な運命に直面するのです。

伏見の宿で志津馬と股五郎の伯父桜田林左衛門とが同宿、両者の間で知略を尽くした駆け引きが行われます。そこへ十兵衛が登場し、事態は急展開を迎えます。敵討ちを巡り運命の酷薄さを描き出す名作をご堪能ください。

円覚寺の段

四代野澤錦糸＝作曲

中 豊竹亘太夫
　 野澤勝平
奥 豊竹芳穂太夫
　 野澤錦糸

沼津の段

前 豊竹呂勢太夫
　 鶴澤清治
ツレ 鶴澤清公
切 豊竹若太夫
　 鶴澤清介
胡弓 鶴澤清方

伏見北国屋の段

野澤松之輔＝作曲

豊竹藤太夫
鶴澤燕三

伊賀上野敵討の段

野澤松之輔＝作曲

政右衛門 竹本小住太夫
志津馬 竹本南都太夫
林左衛門 竹本津國太夫
股五郎 竹本聖太夫
付人 竹本織部太夫
竹澤團吾

沢井城五郎	吉田玉輝
沢井股五郎	吉田簑太郎
呉服屋十兵衛	吉田玉男
佐々木丹右衛門	吉田玉勢（1月3日～13日） 吉田簑紫郎（1月15日～24日）
母鳴見	吉田簑一郎
和田志津馬	吉田勘彌
池添孫八	吉田玉佳
親平作	吉田玉也
荷持安兵衛	桐竹勘昇（1月3日～13日） 吉田玉征（1月15日～24日）
娘お米（瀬川）	吉田和生
桜田林左衛門	吉田文哉
飛脚	吉田玉延
池添孫六	吉田玉路（1月3日～13日） 吉田和馬（1月15日～24日）
唐木政右衛門	吉田玉志
石留武助	吉田和馬（1月3日～13日） 吉田玉路（1月15日～24日）
昵近衆・奴・駕籠舁・家来・諸士	大ぜい

第3部 午後6時45分開演（午後8時5分終演予定）

《国立文楽劇場ナイトタイム・プログラム》

夕霧太夫三五〇回忌

曲輪(くるわぶんしょう)

夕霧はかつて京・島原、そして大坂・新町で絶大な人気を博した太夫（最高位の遊女）です。延宝六年（一六七八）一月に病気で夭折し、大阪市天王寺区の浄國寺の墓所に眠っています。無類の美貌で知られた夕霧の死は世間に衝撃を与え、彼女の存在は井原西鶴『好色一代男』や浄瑠璃・歌舞伎の作品に描かれました。令和九年は「夕霧太夫三五〇回忌」にあたりますので、この正月狂言の決定版を通じて、全盛を極めた伝説の太夫の面影を偲ぶとともに、在りし日の華やかな廓の風景をお楽しみいただきます。

太神楽、餅つきと年の瀬も迫った新町の廓。勘当されて零落した藤屋の若旦那・伊左衛門が揚屋の吉田屋を訪れます。伊左衛門の馴染みの遊女・扇屋夕霧が偶然にも吉田屋に来ており、亭主の計らいで、伊左衛門と夕霧は久々の対面を果たしますが、伊左衛門の嫉妬心から二人は痴話喧嘩を始めて……。色々なやり取りの末、物語は大団円を迎えるのです。

吉田屋の段

口 豊竹靖太夫
　 鶴澤清志郎
ツレ 野澤錦吾
切 竹本錣太夫
　 竹澤宗助
ツレ 鶴澤寛太郎

仲居お鶴	吉田玉延
仲居お亀	吉田玉征
仲居お松	吉田和登
吉田屋喜左衛門	桐竹勘壽
権太夫	桐竹勘次郎
獅子太夫	吉田玉彦
扇屋夕霧	吉田一輔
禿	吉田一大
太鼓持	桐竹勘吉
藤屋伊左衛門	桐竹勘十郎
女房おきさ	桐竹紋臣
若い者	大ぜい

国立文楽劇場 新春イベントについて

- ●初日の1月3日(日)第1部開場前に鏡開きを行います。
- ●1月3日(日)から7日(木)まで、抽選による手ぬぐいプレゼントがございます。
- ●1月3日(日)から24日(日)まで、初春茶会(お茶席)を開催します。是非ご利用下さい。(有料)

※その他のイベントについては、決まり次第、国立文楽劇場ホームページでご案内いたします。